**マルチタッチLEDバックライト方式液晶カラーディスプレイ**

# GH-JCJ223GSHL シリーズ

Ver. 1.0

この度は GREEN HOUSE 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

# 安全上のご注意
# (安全に正しくご使用いただくために)

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

**行為を禁止する絵表示**

禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

**注意をうながす絵表示**

注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

**行為を指示する絵表示**

コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

## ⚠ 警告　異常が発生した場合

| | |
|---|---|
| <br>コンセントから<br>プラグを抜く | 煙が出たら、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。 |
| <br>コンセントから<br>プラグを抜く | 発熱したら、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。 |
| <br>コンセントから<br>プラグを抜く | 異臭がしたら、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。 |
| <br>コンセントから<br>プラグを抜く | 異音がしたら、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。 |
| <br>コンセントから<br>プラグを抜く | 落下や衝撃により破損したら、すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。 |
| <br>コンセントから<br>プラグを抜く | 水や異物が内部に入ったら､すぐに電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。<br>そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。 |

**※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。**

# 警告

| | |
|---|---|
|  AC100V以外<br>使用禁止 | 電源ケーブルは、100ボルト交流電源 (AC100V) のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。<br>日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。 |
|  定期的に<br>プラグを掃除 | 電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。<br>電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。 |
|  コンセントから<br>プラグを抜く | 電源プラグのお手入れは、電源ケーブルをコンセントから取り外して行ってください。<br>電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。 |
|  定格超過<br>禁止 | コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。<br>タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。 |
|  コード傷つけ<br>禁止 | 電源ケーブルのコードは、傷つけないでください。<br>ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。 |

# 警告　電源について

| | |
|---|---|
| <br>落雷時は触れない | 落雷のおそれがある場合、製品に触れないでください。<br>感電の危険があります。 |
| <br>濡れた手で触れない | 濡れた手で電源プラグに触れないでください。<br>感電の危険があります。 |
| <br>破損コンセント使用禁止 | 破損したコンセントをご使用にならないでください。<br>コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。 |
| <br>コードひっぱり禁止 | 電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。<br>コードを引っぱると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。 |
| <br>アース線を接続 | アース線は、必ず接続してください。<br>アース線を接続しないで使用すると、火災や感電の危険があります。 |
| <br>コンセントから抜く | アース線の接続は､事前に電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください｡また､アース線の取り外しは、事前に電源プラグをコンセントから取り外してから行ってください。<br>感電の危険があります。 |
| <br>禁止 | 電源コードは、製品に付属の電源コードセットを使用してください。また、製品に付属の電源コードセットを、他の製品で使用しないでください。<br>火災や感電の危険があります。 |

# ⚠警告　設置について

| | |
|---|---|
| <br>不安定な場所に置かない | 不安定な場所に置かないでください。<br>不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。 |
| <br>水濡れ禁止 | 水のかかる場所に置かないでください。<br>雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。 |
| <br>禁止 | 通気口をふさがないでください。<br>通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。 |
| <br>禁止 | 湿度の高いところに置かないでください。<br>火災や感電の危険があります。 |
| <br>禁止 | 異物が浮遊するところに置かないでください。<br>ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。 |
| <br>禁止 | 温度の高いところに置かないでください。<br>熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。 |

## ⚠警告　使用について

分解や改造禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。

禁止

子供だけで使用させたり､乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。

禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。

禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。

# 免責事項

・ 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
・ 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

# クラスB 情報技術装置

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# 国際エネルギースタープログラム

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラム対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

# 使用上のお願い
# (末永くご使用いただくために)

## 製品の取り扱いについて

・製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
・電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
・製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
・電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
・視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
・疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
・映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
・本製品は、24時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
・本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品:液晶パネル、バックライト、電源ユニット)

## 製品のお手入れについて

・お手入れの際は、電源を切り、電源ケーブルをコンセントから取り外してください。
・汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
・ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
・化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
・ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
・強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
・殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
・ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
・シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

## 製品の温度について

・密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
・製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから取り外してください。

## 結露(つゆつき)について

・温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
・結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
・結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
・寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

## 磁気や電磁妨害について

・磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
・電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
・磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

## しばらく使用しないときは

・長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

## 同梱品の確認

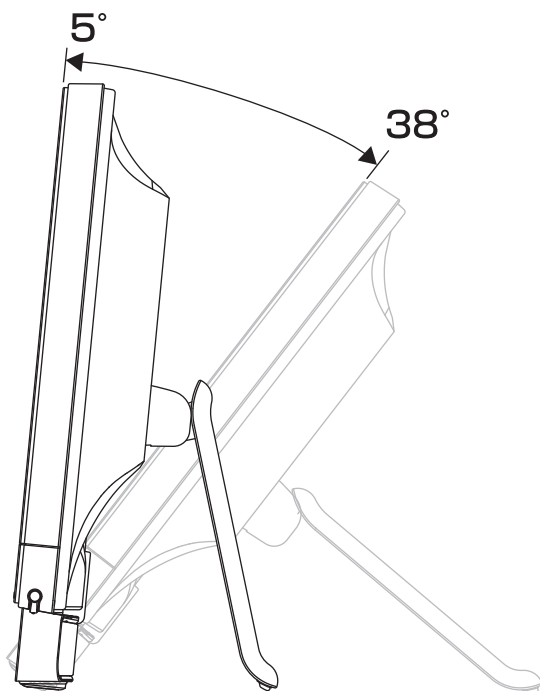
パッケージの中に下記のものがすべて入っているかご確認ください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 液晶ディスプレイ本体 | ・・・1台 | タッチペン(本体側面に付属) | ・・・1本 |
| 専用電源ケーブル(1.8m) | ・・・1本 | アナログ映像信号ケーブル(1.5m) | ・・・1本 |
| デジタル映像信号ケーブル(1.5m) | ・・・1本 | USBケーブル(1.5m) | ・・・1本 |
| オーディオケーブル(1.5m) | ・・・1本 | 取扱説明書(本書) | ・・・1冊 |
| 保証書(3年間)※ | ・・・1枚 | | |

**※バックライト、LCDパネルなどの消耗品については1年間の保証となります。**

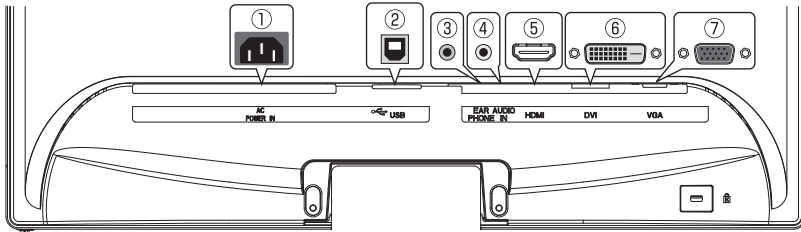
## 本体角度の調整

画面を5°～38°の範囲で、適切な角度に調整することができます。

**※破損の原因となりますので、5°～38°を超える無理な調整は行わないでください。**

# コンピュータと接続

### 接続する前に

使用中のディスプレイを本製品に置き換える場合、あらかじめ表示可能な画面設定に変更した後に、コンピュータ本体と接続してください。表示可能な画面設定については、P.19「ビデオモード」をご参照ください。

### コンピュータと接続する

①ACジャックコネクタ　②USB端子
③ヘッドホン端子　④音声入力端子
⑤HDMI端子　⑥DVI-D端子
⑦Mini D-Sub15端子

1. 本製品を接続する前に、本製品とコンピュータ本体の電源がオフであることを確認してください。
2. 本製品背面のMini D-Sub15端子(⑦)に付属のアナログ映像信号ケーブルを接続し、他方をコンピュータ本体のMini D-Sub15端子に接続してください。
   デジタル信号接続を行う場合は、DVI-D端子(⑥)にデジタル映像信号ケーブルを接続し、他方をコンピュータ本体のDVI端子に接続してください。
3. 音声入力端子(④)にオーディオケーブルを接続し、他方をコンピュータ本体の音声出力端子に接続してください。
   また、音声入力端子より入力された信号を、ヘッドホンなどに出力する場合は、ヘッドホン端子(③)にオーディオケーブルを接続することによって、音声信号を出力することが可能です。
4. 電源ケーブルをACジャックコネクタ(①)に接続し、コンセントプラグをコンセント(AC100V)に接続してください。

※　**コンピュータとの接続は、ご使用のコンピュータの取扱説明書をご参照ください。**

※　**Mini D-Sub15端子、DVI-D端子、HDMI端子の3系統に3台の機器を接続した場合、先に入力信号を検出した機器の映像が表示されます。**

## HDMI対応機器と接続

**接続する前に**

1. 本製品を接続する前に、本製品とHDMI対応映像機（DVDプレーヤー、ゲーム機器、地上デジタルテレビ放送用デジタルチューナーなど）の電源がOFFであることを確認してください。
2. 本製品背面のHDMI端子（⑤）にHDMIケーブルを接続し、他方を機器のHDMI出力端子に接続してください。
3. 電源ケーブルを本製品背面のACジャックコネクタ（①）に接続し、他方をコンセント（AC100V）に接続してください。

**※本製品はHDMI Type A入力端子を一つ搭載しています。**
**コンピュータからの入力およびCECには対応していません。**
**※HDMI対応機器との接続は、ご使用のHDMI対応機器の取扱説明書をご参照ください。**
**※すべてのHDMI対応機器での動作を保証するものではありません。**

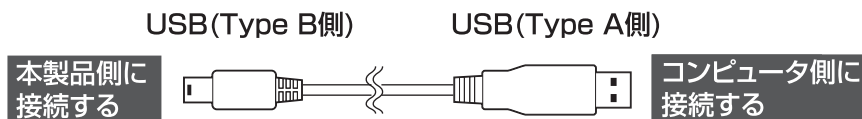
## USBケーブルの接続

**接続する前に**

1. 本製品とコンピュータ本体の電源がONであることを確認してください。
2. 本製品背面のUSB端子(②)に付属のUSBケーブルを接続し、他方をコンピュータ本体のUSB端子に接続してください。
   自動的にドライバのインストールが始まりますので、しばらくお待ちください。
3. タッチパネルの操作についてはP13を参照してください。

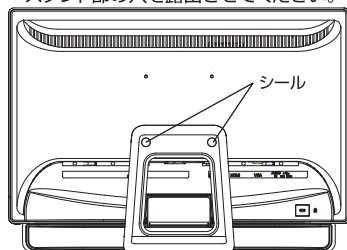
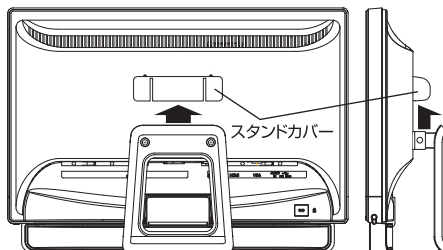
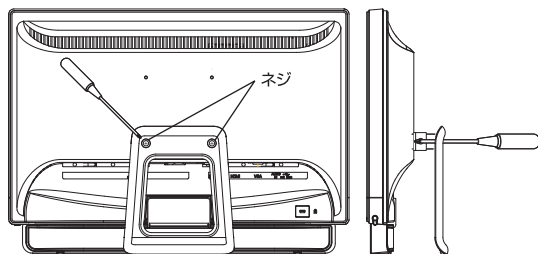
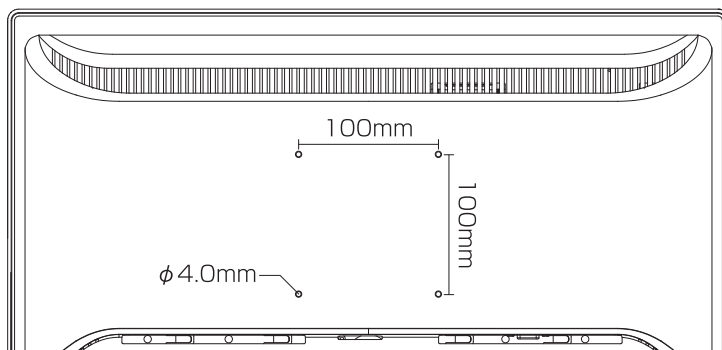
**※タッチパネルはコンピュータのUSBポートから電源供給しています。タッチパネルの機能を使用しない場合はUSBケーブルを取り外してください。**

USB(Type B側)　USB(Type A側)

本製品側に接続する　コンピュータ側に接続する

●ネジの取り外しには、別途ドライバーを用意してください。
●手袋を着用するなど、ケガの無いように十分ご注意ください。

スタンド部分は取り外すことができます。

スタンド部分を取り外す場合は、下記の手順で背面の2か所のネジを外してください。

①下図に貼られているシールをはがして、スタンド部の穴を露出させてください。

②スタンドカバーを取り外してください。

③スタンド部の穴からドライバーの先端を入れ、ネジを外してください。

VESA規格に準拠したアームを取り付けることが可能です。上記説明にてスタンド部を取り外した後、アームの取扱説明書の手順に従い取り付けてください。

●本製品をはじめてパソコンに接続した場合、電源投入後デスクトップの画面が表示されてから 10 秒ほど待って、タッチ操作を行って下さい、
電源投入直後からタッチ操作を行った場合、一部の表示領域でタッチ操作ができなくなるおそれがあります。
上記のように一部の表示領域でタッチ操作ができなくなった場合、本製品の USB ケーブルを取り外し、しばらくしてから再び接続してください。

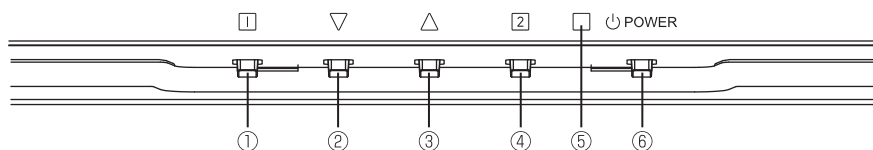
本製品とコンピュータをUSBケーブルで接続すると、タッチパネルで操作をすることができます。

| シングルタップ | マウスのクリックに該当します。<br>画面をタッチしてください。 |
|---|---|
| ダブルタップ | マウスのダブルクリックに該当します。<br>画面を素早く2回タッチしてください。 |
| プレス アンド ホールド | マウスの右クリックに該当します。<br>画面の同じ位置をタッチし続けてください。 |
| ドラッグ | 画面にタッチしたままスライドしてください。 |
| スクロール | スクロールできるウィンドウを選択後、画面にタッチしたまま上下にスライドしてください。 |
| ズーム | ズームできる画像ファイルなどの画面上で2箇所タッチし、タッチした位置を近づけたり離したりしてください。 |
| 回転 | 回転できる画像ファイルなどの画面上で2箇所タッチし、1箇所を支点にもう1箇所を回転するようにスライドしてください。 |

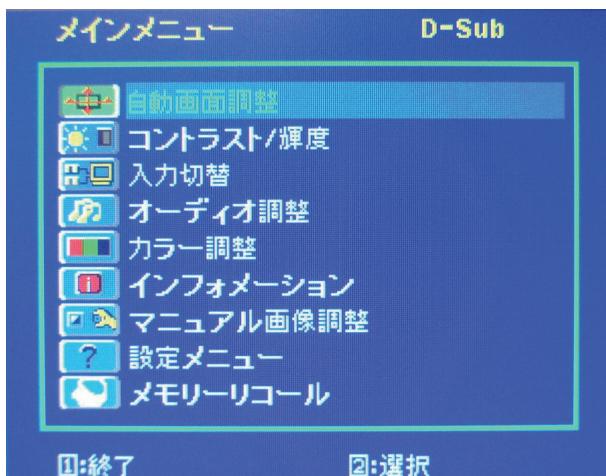
**※タッチパネルの機能はWindows 8/7のみ対応しています**

**※タッチパネルを操作できないときは、P21のトラブルシューティングをご覧ください。**

**※本製品は、2ポイントのマルチタッチに対応しております。**
**3ポイント以上のマルチタッチが必要なジェスチャには対応しておりません。**

# ボタン説明

| 番号 | 操作ボタン/表示 | 概要 |
|---|---|---|
| ① | I | ・OSDメニューを表示します。 |
| ② | ▽ | ・OSDメニュー項目の変更や調整を行います。<br>・OSDメニュー非表示時、色合設定画面を表示します。 |
| ③ | △ | ・OSDメニュー項目の変更や調整を行います。<br>・OSDメニュー非表示時、オーディオ調整画面を表示します。 |
| ④ | 2 | ・OSDメニュー項目の決定を行います。<br>・OSDメニュー非表示時、入力切替画面を表示します。 |
| ⑤ | □ LED | ・電源オン時に映像信号が入力されると青色に点灯します。<br>・映像信号が入力されていない場合など省電力モード時には橙色に点灯します。※1<br>・電源オフ時は消灯します。 |
| ⑥ | POWER | ・電源オン/オフの切り替えを行います。 |

※1「LED点灯設定:消灯」の時は消灯します。

OSDメニュー機能を使用して画面表示設定を調整することができます。

1. 前面の[ I ]ボタンを押すとOSDメニューのメインメニューが表示されます。
2. メインメニューが表示されましたら、▽ボタンや△ボタンを押して調整する項目を選択し、[ 2 ]ボタンを押してサブメニューに移行してください。
3. サブメニューに移行後、▽ボタンや△ボタンを押して調整するOSD項目を選択し、[ 2 ]ボタンを押して決定してください。
4. ▽ボタンや△ボタンを押して、設定値の変更を行います。
5. 調整が終わりましたら[ 2 ]ボタンを押してください。設定が保存されます。
6. [ I ]ボタンを押してメインメニューに戻ります。
7. 引き続き別の設定項目を設定したい場合は、手順2に戻って操作を行ってください。設定を終了する場合は、[ I ]ボタンを押してOSDメニューを終了してください。

## OSDショートカット機能

メインメニューを呼び出さずに調節·設定できる項目があります。
それぞれOSDメニューが表示されていない状態で操作を行うことで実行されます。

| | |
|---|---|
| 色合設定 | ▽ ボタンを押すと、色合設定画面を表示します。 |
| オーディオ調整 | △ ボタンを押すと、オーディオ調整画面を表示します。 |
| 入力切替 | 2 ボタンを押すと、入力切替画面を表示します。<br>入力切替画面では、▽△ボタンでカーソルを動かし、2 ボタンで決定します。<br>[D-sub] [DVI] [HDMI] [自動]の4項目から選択します。<br>※[自動]を選択した場合、最初に信号が入力された端子の画面を表示します。 |

※機能、制限に関してはP17、18のOSDメニュー項目をご参照ください。

## OSDメニューロック機能

OSDメニューロック機能を有効にするとOSDメニューが表示不可となります。
不用意な設定変更を防ぐ場合などにご利用ください。

### OSDメニューロック機能を有効/無効にする

1. 電源がオンになっていることを確認します。
2. I ボタンと △ ボタンを同時に押します。画面に「OSDボタンロック設定中」と表示されます。
3. I ボタンと △ ボタンを押し続け、メーターを一杯にしてください。メーターが一杯になりしだい「OSDボタンロック」と表示され、OSDメニューロック機能が有効になります。
4. OSDメニューロック機能を無効にする場合は、2と同様の作業を行ってください。

## パワーロック機能

パワーロック機能を有効にすると、電源操作が不可となります。
不用意な操作を防ぐ場合などにご利用ください。

### パワーロック機能を有効/無効にする

1. 電源がオンになっていることを確認します。
2. I ボタンと ▽ ボタンを同時に押します。画面に「電源ボタンロック設定中」と表示されます。
3. I ボタンと ▽ ボタンを押し続け、メーターを一杯にしてください。メーターが一杯になりしだい「電源ボタンロック」と表示され、パワーロック機能が有効になります。
4. パワーロック機能を無効にする場合は、2と同様の作業を行ってください

## OSDメニュー項目1

| | 項目<br>（メインメニュー） | 項目<br>（サブメニュー） | | 内容 |
|---|---|---|---|---|
| | 自動画面調整 | | | クロック、フォーカス、水平位置、垂直位置の項目を自動で調整します。 |
| | コントラスト/<br>輝度 | コントラスト | | 画面のコントラストを調整します。 |
| | | 輝度 | | 画面の輝度を調整します。 |
| | | DCE<br>※1 | Off | DCE機能のOff/Onを切り替えます。<br>Ｏｎにするとダイナミックコントラスト比5,000,000:1になります。 |
| | | | On | |
| | | エコモード<br>※2 | Off | エコモード機能のOff/Onを切り替えます。<br>Onにするとバックライトを調整し消費電力を低減します。 |
| | | | On | |
| | | OD | Off | OD機能のOff/Onを切り替えます。<br>Onにするとディスプレイの応答が高速になり、表示の残像を低減します。 |
| | | | On | |
| | 入力切替 | D-Sub | | 入力映像信号をMini　D-Sub15端子に切り替えます。 |
| | | DVI | | 入力映像信号をDVI-D端子に切り替えます。 |
| | | HDMI | | 入力映像信号をHDMI端子に切り替えます。 |
| | | 自動 | | 入力映像信号を検出し自動で切り替えます。 |
| | オーディオ調整 | 音量 | | 音量を調整します。 |
| | | ミュート | | スピーカーのミュート機能を有効/無効にします。 |
| | | 音声入力 | Line-In | 音声信号を音声入力端子/HDMI端子のどちらかに切り替えます。 |
| | | | HDMI | |
| | カラー調整<br>※4 | sRGB<br>※3 | | 原画像に基づいた色合いに調整します。 |
| | | 9300K | | 色温度を9300Kに設定します。 |
| | | 6500K | | 色温度を6500Kに設定します。 |
| | | 5400K | | 色温度を5400Kに設定します。 |
| | | ユーザー<br>カラー設定 | 赤 | 赤色の濃淡を調整します。 |
| | | | 緑 | 緑色の濃淡を調整します。 |
| | | | 青 | 青色の濃淡を調整します。 |
| | インフォメーション | | | 現在の解像度、リフレッシュレートなどの情報を表示します。 |

## OSDメニュー項目2

<table>
<tr><th></th><th>項目<br>(メインメニュー)</th><th colspan="2">項目<br>(サブメニュー)</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="14"></td><td rowspan="14">マニュアル<br>画像調整</td><td colspan="2">クロック</td><td>画面に縦模様が生じたときに調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">水平/垂直位置</td><td>水平位置</td><td>水平方向画面位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>垂直位置</td><td>垂直方向画面位置を調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フォーカス</td><td>文字などの輪郭がぼやける場合に微調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">シャープネス</td><td>画面のシャープネスを微調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画面比率調整</td><td>全画面</td><td>画面の縦横比(アスペクト比)を16:9に切り替えて表示します。</td></tr>
<tr><td>スクエア</td><td>画面の縦横比(アスペクト比)を維持して表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">色合設定</td><td>スタンダード</td><td>標準設定の色合いに調整します。</td></tr>
<tr><td>ゲーム</td><td>ゲームに最適な色合いに調整します。</td></tr>
<tr><td>映画</td><td>映画鑑賞に最適な色合いに調整します。</td></tr>
<tr><td>風景</td><td>写真表示に最適な色合いに調整します。</td></tr>
<tr><td>テキスト</td><td>テキストの表示に最適な色合いに調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="3" style="display:none"></td></tr>
<tr><td colspan="3" style="display:none"></td></tr>
<tr><td rowspan="10">?</td><td rowspan="10">設定メニュー</td><td rowspan="2">言語設定</td><td>English</td><td>OSDメニューを英語にします。</td></tr>
<tr><td>日本語</td><td>OSDメニューを日本語にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">OSD位置</td><td>水平位置</td><td>OSDメニューの水平方向位置を調整します。</td></tr>
<tr><td>垂直位置</td><td>OSDメニューの垂直方向位置を調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">OSDタイムアウト</td><td>OSDメニューを表示する時間を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">OSD<br>透過設定</td><td>Off</td><td rowspan="2">OSD透過設定機能のオフ/オンを切り替えます。オンにするとOSDメニューが半透明になります。</td></tr>
<tr><td>On</td></tr>
<tr><td rowspan="2">LED<br>点灯設定</td><td>点灯</td><td rowspan="2">LED点灯設定機能の点灯/消灯を切り替えます。消灯にすると省電力モード時にLEDステータスランプが消灯します。</td></tr>
<tr><td>消灯</td></tr>
<tr><td colspan="3" style="display:none"></td></tr>
<tr><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">メモリーリコール</td><td colspan="2">メモリーリコール キャンセル</td><td>キャンセルします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリーリコール 実行</td><td>工場出荷時の設定に戻します。</td></tr>
</table>

※　DVI/HDMI接続のときは、自動画面調整、クロック、水平/垂直位置、フォーカスの項目は選択できません。
※　最大推奨解像度表示の時は、シャープネスの項目は選択できません。
※1　DCE機能オンの時は、輝度の項目は選択できません。
※2　エコモード機能オンの時は、コントラスト、輝度、DCE、色合設定の項目は設定できません。
※3　sRGBの時は、コントラスト/輝度、色合設定の項目は選択できません。
※4　色合設定がスタンダード以外の時は、カラー調整、DCEの項目は選択できません。

## ビデオモード

| 解像度 | 水平周波数(kHz) | 垂直周波数(Hz) | モード |
|---|---|---|---|
| 1920x1080 ※ | 67 | 60 | Full HD |
| 640x480 ※ | 31 | 60 | VESA-VGA |
| | 38 | 75 | |
| 800x600 ※ | 38 | 60 | VESA-SVGA |
| | 47 | 75 | |
| 1024x768 ※ | 48 | 60 | VESA-XGA |
| | 60 | 75 | |
| 1280x1024 ※ | 64 | 60 | VESA-SXGA |
| | 80 | 75 | |

※液晶ディスプレイの解像度及び周波数が上記の設定範囲外の場合、正常に表示されない場合があります。

※著作権保護技術HDCPの映像などをお楽しみいただくためには別途HDCP対応のビデオカードやコンピュータなどのハードウェアが必要です。

※本製品の推奨解像度は1920×1080です。お客様の環境にて推奨解像度が表示できるかをあらかじめご確認ください。

※本製品は推奨解像度以外の解像度では擬似的に画像を拡大して表示するため、文字などの線がぼやけて表示されますが、本製品の仕様のため故障ではございません。

※お使いのコンピュータに上記ビデオモードの垂直周波数が選択できない場合は、より近い垂直周波数を選択してください。

※本製品が対応する解像度1920×1080はWindowsでご使用の場合、Windows 8 / 7 / Vista / XP のみ対応します。
Macintoshでご使用の場合、Mac OS X 10.4以降での対応になります。

※本製品はPower Macintosh シリーズでのDVI接続での動作は保証いたしかねます。

※本製品はADC(Apple Display Connector)を使用した場合の動作は保証いたしかねます。

※本製品はデジタル⇔アナログなどの変換コネクタでの動作は保証いたしかねます。

※本製品はディスプレイ切り替え機での動作は保証いたしかねます。

※本製品はサービスコンセントなどでの動作は保証いたしかねます。

# 製品仕様

| 製品型番 | GH-JCJ223GSHLシリーズ |
| --- | --- |
| パネルタイプ | 21.5型TFT |
| 最大表示範囲 | 476.6mm × 268.1mm (H×V) |
| 最大表示解像度 | 1920×1080(Full HD) |
| 画素ピッチ | 0.248mm × 0.248mm |
| 最大表示色 | 1677万色相当(疑似フルカラー) |
| 標準視野角度 | 上下160°左右170° |
| コントラスト比 | 1000:1(DCE機能ON時:5,000,000:1) |
| 輝度 | 250cd/m2 |
| 応答速度 | 5ms<br>(オーバードライブ機能ON時:GTG2ms) |
| 水平周波数 | アナログ信号入力時:30KHz~82KHz<br>デジタル信号入力時:30KHz~82KHz |
| 垂直周波数 | アナログ信号入力時:55Hz~75Hz<br>デジタル信号入力時:55Hz~75Hz |
| 入力信号 | アナログRGB(Mini D-Sub15)端子×1<br>デジタルTMDS(DVI-D)端子×1<br>HDMI端子×1 |
| パワーマネージメント | VESA DPMS |
| プラグ&プレイ機能 | VESA DDC 2B |
| 画面コントロール | OSD |
| スピーカー | ステレオスピーカー2基(1W+1W) |
| 消費電力 | 最大30W(省電力モード時:1W以下) |
| 電源電圧 | AC 100V 50/60Hz |
| 重量 | 約4.5kg(本体のみ) |
| 外形寸法 | W516.3×D123.6×H373.4(mm) |
| 動作時温度 | 0℃~40℃ |
| 動作時湿度 | 20%~80%(結露なきこと) |
| 保管時湿度 | 0℃~60℃ |
| 保管時湿度 | 10%~90%(結露なきこと) |

※液晶パネルは精密な技術によって製造しているため、その特性として、液晶パネル内に点灯しない画素(画素欠け:黒点)や、いつも点灯する画素(常時点灯:輝点)が存在する場合がありますが、製品の故障ではありません。

故障かな?と思ったら症状にあわせて下記項目を確認してください。

## タッチパネルを操作できない

(1) コンピューターを右クリックし、表示されたプロパティをクリックします。
(2) デバイスマネージャーをクリックします。
(3) ヒューマンインターフェイスデバイスをクリックします。
HID準拠デバイスとUSB入力デバイスが表示されていれば正しくインストールされています。
※ 上記の項目が無い場合、ヒューマンインターフェイスデバイス内に!が点いたデバイスを削除して、再起動してください。

## タッチした位置とカーソルの位置が離れてしまう

(1) コントロールパネルを表示します。
(2) Tablet PC 設定をクリックします。
(3) 画面のディスプレイ オプションの調整をクリックします。
一度調整している場合は、リセットをクリックしてください。
(4) 画面の指示に従い、+の箇所をタッチしてください。
※ 調整は推奨解像度で行ってください。推奨解像度以外の解像度では正常に調整されない場合があります。

## タッチパネルが反応しにくい

(1) コントロールパネルを表示します。
(2) Tablet PC 設定をクリックします。
(3) その他のペンとタッチの[ペンとタッチ]に移動をクリックします。
(4) ペンのオプションの設定を調整してください。

## スピーカーから音が出ない

(1) 本製品とコンピュータがオーディオケーブルで正しく接続されているかご確認ください。
(2) 本製品のボリュームとコンピュータ本体側のボリューム設定をご確認ください。

## 画面に何も映らない

**(1) 本製品の電源が入っていることをご確認ください。（ランプの色をご確認ください）**
**あわせてコンピュータの電源が入っていることをご確認ください。**

① LEDランプが消灯している場合は、電源ボタンを押してください。

② ①を行っても表示されない場合は、専用電源ケーブルをコンセントに挿しているか、ご確認ください。

**(2) 電源ランプが橙色の場合**

① コンピュータが省電力モードになっていないかご確認ください。

② 本製品とコンピュータのケーブルの接続をご確認ください。

③ [2] ボタンを押して入力切替の項目を接続している端子に変更してください。

④ 上記の確認を行っても表示されない場合は、対応外の信号を入力している可能性があります。以下の方法で、対応している解像度、リフレッシュレートに変更してください。

[Windows XPの場合]

WindowsをVGA modeで起動し、対応している解像度、リフレッシュレートを選択し直してください。

[Windows 8 / 7 / Vistaの場合]

低解像度ビデオ(640 x 480)で起動し、『画面の設定』から『詳細設定』を選択し、さらに『アダプタ』タブ内の『モード一覧』の中から対応している解像度、リフレッシュレートを選択し直してください。

[Mac OS 10.4以降の場合]

今までご使用していたディスプレイに接続し直して本製品の対応範囲内の画面設定（P.19「ビデオモード」参照）に変更し、再度接続を行ってください。

**(3) 電源ランプが青色の場合**

コンピュータから出力されている映像信号をご確認ください。

## エラーメッセージが表示される

**「範囲外」などのエラーメッセージが表示され映像が表示されない場合、対応外の信号を入力している可能性があります。**

以下の方法で、対応している解像度、リフレッシュレートに変更してください。

[Windows XPの場合]

WindowsをVGA modeで起動し、対応している解像度、リフレッシュレートを選択し直してください。

[Windows 8 / 7 / Vistaの場合]

低解像度ビデオ(640 x 480)で起動し、『画面の設定』から『詳細設定』を選択し、さらに『アダプタ』タブ内の『モード一覧』の中から対応している解像度、リフレッシュレートを選択し直してください。

[Mac OS 10.4以降の場合]

今までご使用していたディスプレイに接続し直して本製品の対応範囲内の画面設定(P.19「ビデオモード」参照)に変更し、再度接続を行ってください。

## アナログ信号入力時画面がにじんだり、ぼやけたりする

**(1) 自動画面調整を実行してください。**

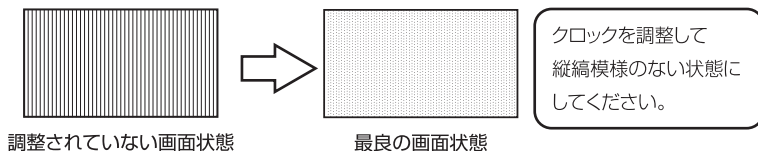
① [I] ボタンを押してOSDメニューのメインメニューを表示します。

② ▽ ボタンや △ ボタンを押して「自動画面調整」を選択し [2] ボタンを押すと、画面に「自動画面調整」と表示され自動調整を行います。

**(2) (1)で症状が改善しない場合はリフレッシュレートを変更できる場合はリフレッシュレートを変更してください。症状が改善される可能性があります。症状が改善されない場合は元に戻してください。**

**(3) (1)、(2)で症状が改善しない場合は手動で調節を行います。**

**※お客様の環境によりクロックのみ、フォーカスのみ、または両方の調節が必要になります。**

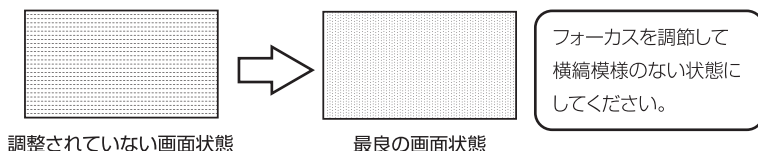
**[クロックを調整する]**

① [I] ボタンを押してOSDメニューのメインメニューを表示します。

② ▽ ボタンや △ ボタンを押して「マニュアル画像調整」を選択し、[2] ボタンを押してサブメニューに移行します。

③ ▽ ボタンや △ボタンを押して「クロック」を選択し、[2] ボタンを押して決定します。

④ ▽ ボタンや △ボタンを押してクロックを適切な値に設定します。

⑤ [I] ボタンを押してメニューを終了します。

**[フォーカスを調整する]**

① [I] ボタンを押してOSDメニューのメインメニューを表示します。

② ▽ ボタンや △ボタンを押して「マニュアル画面調整」を選択し、[2]ボタンを押してサブメニューに移行します。

③ ▽ ボタンや △ボタンを押して「フォーカス」を選択し、[2] ボタンを押して決定します。

④ ▽ ボタンや △ ボタンを押してフォーカスを適切な値に設定します。

⑤ [I] ボタンを押してメニューを終了します。

## 画面上下や左右端に非表示の領域ができてしまう

**(1) 自動画面調整を実行してください。**

① [I] ボタンを押してOSDメニューのメインメニューを表示します。

② ▽ ボタンや △ ボタンを押して「自動画面調整」を選択し、[2] ボタンを押すと、画面に「自動画面調整」と表示され自動調整を行います。

**(2) 画面比率設定が「全画面」となっているかどうか確認してください。**

① [I] ボタンを押してOSDメニューのメインメニューを表示します。

② ▽ ボタンや △ ボタンを押して「マニュアル画像調整」を選択し、[2] ボタンを押して決定します。

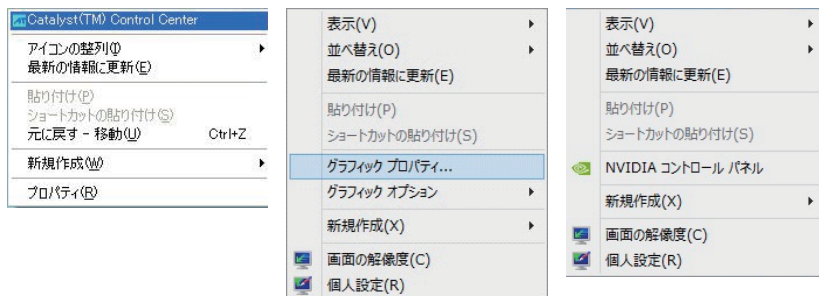
③ ▽ ボタンや △ ボタンを押して「画面比率調整」を選択し、[2] ボタンを押して決定します。

④ ▽ ボタンや △ ボタンを押して「全画面」を選択し、[2] ボタンを押すと、表示部分が画面一杯に拡大して表示されるようになります。

※ 表示している解像度によっては、画面の縦横比が変わってしまう場合があります。

**(3) パソコンの拡大表示の設定をご確認ください。**

① デスクトップ画面の何もないところで、右クリックをします。

② 「Catalyst(TM) Control Center」や「グラフィック プロパティ」、「NVIDIA コントロールパネル」を選択します。

※パソコンの環境や設定により、記載の図に多少の差異がある場合があります。

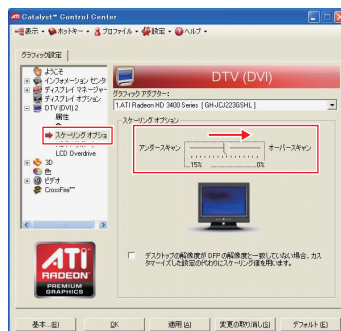
次のページへ

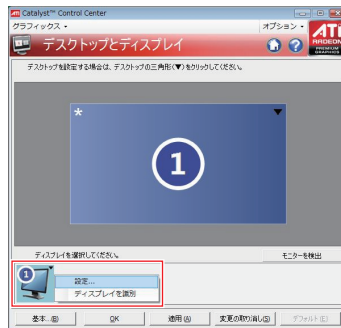
前のページから

③　表示された画面で、以下の設定を行ってください。

[Catalyst(TM) Control Centerをクリックした場合]

※　パソコンの環境により、さらに設定手順がわかれます。
表示された画面を確認し、次の①、または②～④の設定を行ってください。

①　左枠の中から[スケーリングオプション]を選択し、[アンダースキャン]のスライダーを右側へ移動させ、[適用]ボタンを選択します。
非表示の領域がなくなったら、[OK]を選択します。

②　上部にあるツールバー[グラフィック]から[デスクトップとディスプレイ]を選択します。

③　表示された[デスクトップとディスプレイ]画面の下部にあるディスプレイのアイコンを右クリックして[設定]を選択します。

次のページへ

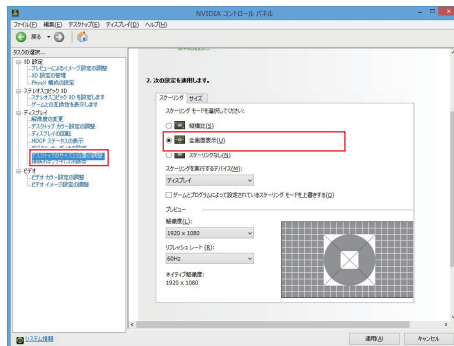
前のページから

④ 表示された画面の上部にある[スケーリング オプション]のタブを選択し、[アンダースキャン]のスライダーを右側へ移動させ、[適用]を選択します。非表示の領域がなくなったら、[OK]をクリックして終了します。

## [グラフィック プロパティをクリックした場合]

リストから[ディスプレイ 一般設定]を選択し、設定項目の中の[スケーリング]、[全画面のスケールにする]を選択し、[OK]をクリックして終了します。

## [NVIDIA コントロールパネルをクリックした場合]

左枠の中から[ディスプレイ]を選択し、[デスクトップのサイズと位置の調整]を選択した後、表示された画面から[全画面表示]を選択し、[適用]をクリックした後、✕ をクリックしてウインドウを終了します。

## 故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

| サポート窓口 | グリーンハウス テクニカルサポート |
|---|---|
| テクニカルサポートダイヤル | 03-5421-0580 |
| 受付時間 | 10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日) |
| FAX | 03-5421-2266（24 時間受付） |
| 住所 | 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階 |
| ホームページ | http://www.green-house.co.jp/ |

・故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」やFAXでお問い合わせください。
・お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
・テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は、日本国外では使用できません。
・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have not responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.


※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。
※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

## リサイクルについて

本製品のリサイクルにつきましては、弊社ホームページから回収をお申し込みください。

液晶ディスプレイのリサイクル
http://www.green-house.co.jp/corporate/eco/recycle.html

株式会社グリーンハウス

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver. 1.0